

## 第4ブロック交流会 参加

11月21日（金）、成田市にある社会福祉法人まごころ ビーアンビシャス及びポリテクカレッジ成田（千葉職業開発短期大学校成田キャンパス）の体育館を会場にして、平成26年度東総地域精神障害者交流会が開催され、しおさいからは春日の職員4名とメンバー9名が参加しました。

午前は、ポケット（就労継続支援B型事業所・白井市）、かぶらきワークセンター（地域活動支援センター・佐倉市）、ビーアンビシャス（多機能型事業所・成田市）の3事業所が、それぞれパワーポイントや映像を使いながら活動報告を行いました。

昼食を挟んで午後からは、近くの体育館に移動し、パターゲームをして交流を図りました。パターゲームは、2人一組となって、交互にパターで硬式テニスボールを打ち、目標の穴に入れるというもので、ボールを打った数の合計が少ない組が勝ちとなります。これがまた力加減が難しく、中々穴に入らない組もあり、あちこちから歓声や笑い声が上がり、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。この日は4コース41組がゲームに参加しましたが、何と！しおさい職員の海上・八角組が2位になり、ビーアンビシャスより景品を頂きました。



▲活動報告（午前）



▲販売（昼休み）



▲ご機嫌でピースするみっちゃん



▲パターゲーム（鈴木・山口組）



▲パターゲーム（石毛・椿組）



▲お疲れ様の記念撮影

### 就職決定者続出

過日行われたふれあい面接会に参加したしおさいメンバーのうち、3名が一次面接や二次面接を経て、イシガミ（煎餅製造会社）へ1名、ヤマサ醤油へ2名が採用されました。

また、これとは別に1名がヤマサ醤油に採用された他、もう1名が神栖市の建設会社への就職が決まりました。

ここ数年就職者ゼロが続いていた為、今年の就職数には職員も驚きを感じており、各作業で戦力となっていたメンバーが抜けてしまうことは、しおさいにとって痛手ではありますが、喜んで送り出したいと思います。皆さんおめでとうございます。それぞれの職場で無理をせず頑張ってください。



## 地域意見交換会 開催

11月13日（木）、香取市小見川市民センターいぶき館において、「平成26年度 第2回障害のある方の雇用と就業に関する地域意見交換会」が開催され、しおさいから職員2名が参加しました。

基調講演では、特定非営利活動法人障がい者就業・雇用支援センター理事長の秦政氏はたまたこが「障がい者雇用を進めるために必要なこと～求められる気付きと対応～」と題して話されました。この中で、障がい者雇用のステップとして、①障がい者雇用の理解、②職務の選定、③雇用条件・採用計画立案、④募集～採用、⑤障害への配慮、⑥職場定着 という流れで行うことが重要であると説明されました。その為には、（1）会社ぐるみで障がい者を知り理解する、（2）社内に横断的プロジェクトを組織する、（3）部門ごとに障がい者に任せられる仕事を発掘する というような企業側の努力が必要だと述べられました。



▲シンポジウムの様子

続いて行われたシンポジウムでは、株式会社日本オフィスオートメーション香取工場（香取市岩部）から管理職2名と障がい者2名が招かれ、障害者雇用の取り組みについて意見を交わしました。この中で秦氏は「会社の中に障がい者を受け入れる風土があるかどうかが大事で、雇用率をただ気にしているだけではうまく行かない。また、障がい者本人も本気で働きたいと思っているのが大切だ」と述べ、管理職の方も「障がい者を受け入れるための会社としての努力が必要」と話されました。また障がい者の一人は「みんなやさしくフォローしてくれる」と話し、働きやすい環境に満足している様子でした。このような企業が更に増えて行くことを期待したいと思います。私たちも頑張らなくちゃ！！

## 銚洋祭と健康まつりに参加

11月1日（土）に行われた千葉県立銚子特別支援学校の文化祭「銚洋祭」にパン・クッキー類の販売のため、参加しました。雨が降るあいにくの天気でしたが、大勢の来場者があり、しおさいのコーナーにも多くの皆さんが寄って購入して下さいました。また、11月16日（日）、銚子市保健福祉センターすこやかな学びの城で行われた「健康まつり」にも参加し、布製品を販売しました。購入して下さいました皆さんありがとうございました。



▲銚洋祭での販売▲



▲健康まつりでの販売

### ～編集後記

1面でも書いた通り、今年は5名のメンバーが就職して行きました、皆さんもそれを目の当たりにして、“何時かは”と心に決めたことでしょうか。就職したいと思う気持ちはとても大切で、職員もその思いに応えられるよう支援して行きますが、企業が障害者を雇用することは、企業方にも相当な負担をかけ、努力をして頂いていることを私たちも再認識する必要があります。厳しい言い方ですが、障害者が一般企業等で働くことは簡単に実現しないということです。それが現実です。多くの方の支援も入りますし、私たちもそれなりの努力が必要です。就職の機会はこれからも訪れます。それまでしおさいで就労に耐えつる体力や能力を高めて行きましょう。